

K A N T O
G A K U I N
U N I V E R S I T Y





それは、横浜にある

いち早く海外への門戸を開いた横浜は、日本の代表的な国際都市として発展してきました。鉄道の創業や日本初のガス灯設置など、日本の文明の礎を築き、今では世界的な企業が数多く集い、日本経済を支えています。また、スポーツスタジアム、コンサートホール、ミュージアム、国の重要文化財建造物などが数多くある文化都市としても存在感を示しています。さらに、横浜は20以上の高等教育機関を有し、企業のR&D施設が集まる学術の都市でもあります。関東学院大学も、その源流である「横浜バプテスト神学校」が創設された1884年以来、この地で「人と社会に貢献する人材」を育成してきました。横浜には、文明があり、文化があり、関東学院大学があり、そして、あなたの夢が、ここにあります。

数字で見る 関東学院大学

2019年度実績

関東学院大学は、国際文化都市・横浜を中心に、キリスト教に基づく人格教育を、創立以来130年以上にわたって継承してきた総合大学です。「人になれ 奉仕せよ」という校訓のもと、総合大学の特性を十分に生かして、教育、研究だけでなく、地域・社会連携、国際貢献、学生スポーツ、文化活動などにも力を注いでいます。



11学部 14学科
8コース、
+大学院 5研究科

産官学連携事業数
46件

特許権等実施件数
(2018年度実績)
1,084件
全国3位 / 1,008大学

知的財産等収入
(2018年度実績)
12,634,200円
共同研究・委託研究数
107件



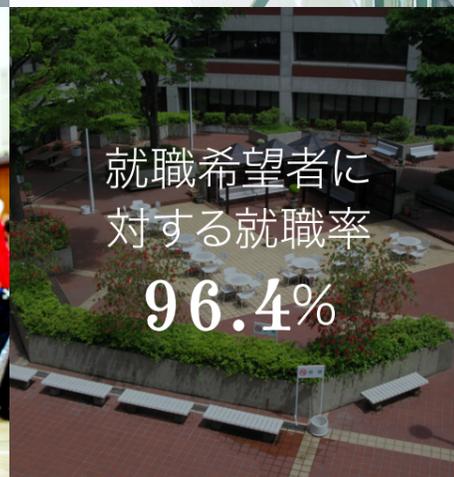
蔵書数
1,487,454冊



創立年
1884年



就職希望者に対する就職率
96.4%



教員数
1,224人
学生数
11,045人



同窓会会員数
123,134人



留学生数
158人



総キャンパス面積
403,916㎡
(サッカーフィールド約56面分)

社会をキャンパスに、新しい価値を創造する 産官学連携プロジェクト

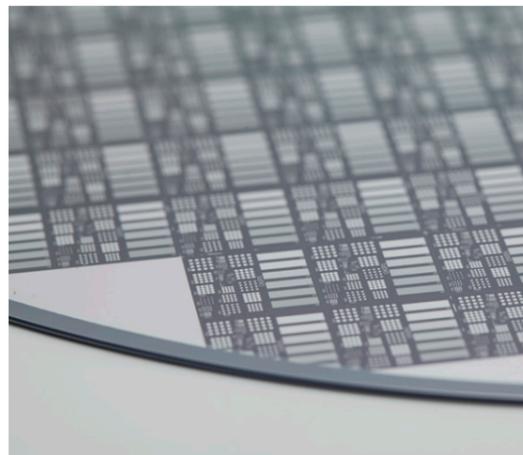


産官学協働で世界をリードする、 「材料・表面工学研究所」

材料・表面工学研究所は、国内外の約60社の技術供与企業と共に、材料の表面に金属の薄膜を形成させる「めっき法」をベースにして、表面処理の先端技術と新素材の研究開発を行っています。

近年は、めっき以外にも超撥水・超親水などの表面処理技術の開発にも取り組んでいます。

関東学院大学は、世界に先駆けてプラスチックめっきの実用化に成功しましたが、当初は特許を取得せず、関東学院の校訓「人になれ 奉仕せよ」の精神に基づき、広く社会に役立てるために技術をオープンにしました。この技術は自動車メーカーに採用されたほか、今では世界中の先端エレクトロニクス分野での核心技術としても応用されています。



主な研究内容

- 非シアン系金めっき浴によるダイレクトパターンめっき形成技術
- ジェット噴流を用いた高速銅めっき技術
- ファインバブル低濃度オゾン水を用いたプラスチック表面の改質技術
- ソリューションプラズマプロセス（超撥水・超親水性コーティング）
- 寒冷地におけるLED信号灯器の積雪・凍結対策
- UV照射による前処理法を用いた樹脂表面へのめっき
- ガラス上の選択めっき・樹脂への転写によるダイレクトパターンニング
- 高速信号伝送&フレキシブル電子回路基板の開発
- 超電導エネルギー貯蔵デバイスの開発

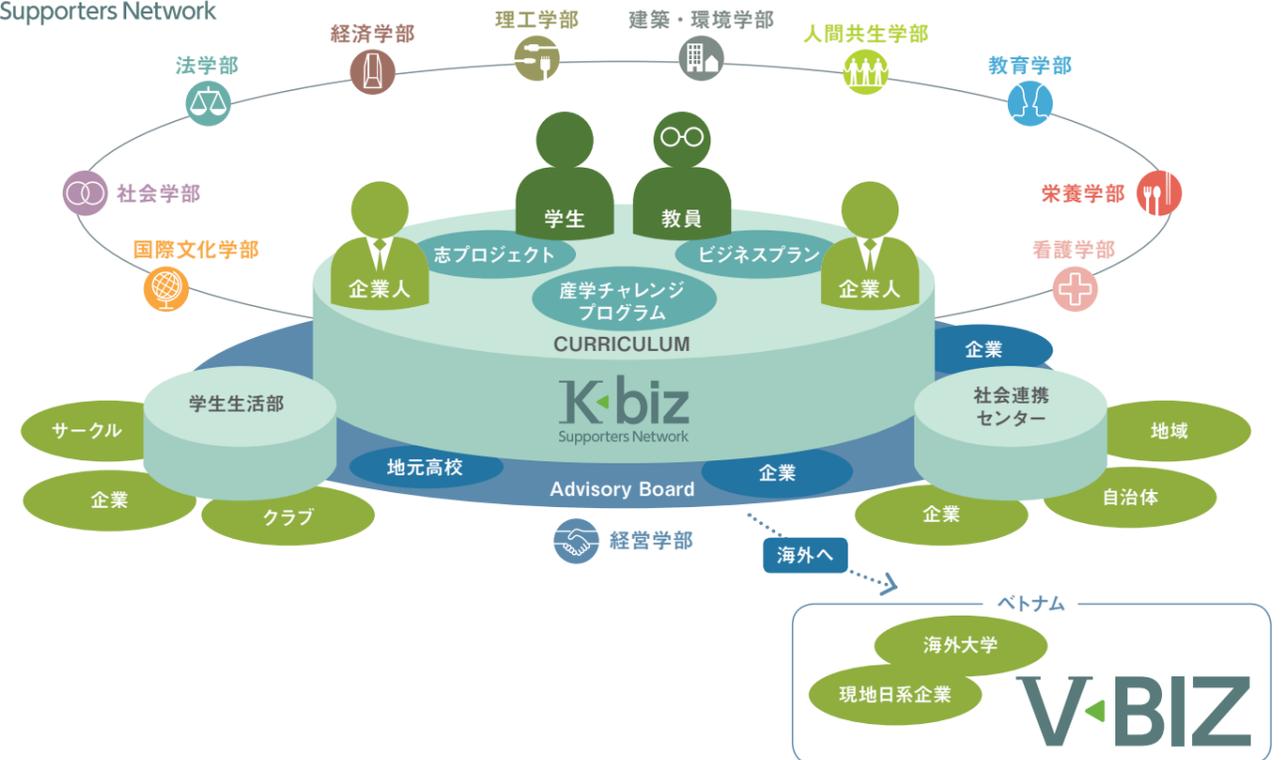
社会の課題に向き合い解決策を探求する、 社会連携教育プラットフォーム「K-biz」



K-bizとは、関東学院大学の実践的な教育をサポートするため、業界をリードする企業11社などからなる教育プラットフォーム。「ビジネスプラン」や「専門セミナー」などの教育活動を、企業とのコラボレーションによって展開することで、ビジネスの理論と実践を融合した、生きた経営学を学ぶ環境を整えています。

また、K-bizをもとに、ベトナムのハノイ貿易大学でV-BIZを展開しています。現地の日本企業が抱える課題をテーマに、ビジネスプランの企画から提案まで、実践的に学修する機会を現地の学生にも提供しています。

K-biz Supporters Network



命を守り、希望をつなぐ。 「防災・減災・復興学研究所」

防災・減災・復興学研究所は、人と社会の希望や幸福に目を向け、自然科学や工学的なアプローチだけでなく、人文・社会科学領域を融合させた新たな学問体系「防災・減災・復興学」の構築と研究拠点の形成を目的に、2017年に発足しました。11学部を持つ総合大学ならではの強みを活かし、技術的観点から見た“安全”だけでなく、経済学、法学、社会学、看護学、栄養学といった幅広い領域から「防災・減災・復興学」を研究し、経済、文化、地域の未来など、そこに住まう人々の「命」と「希望」を守ることを目指します。



海外大学との共同

- ベトナム水利大学
- 韓国カトリック関東大学校

11 学部 14 学科 8 コースからなる総合大学



国際文化学部

異文化理解を深め、
協力・協働できる人材へ

国際共通語としての英語はもちろん、アジアやヨーロッパの国々の言葉を身につけ文化を学びます。教育や宗教、生活習慣など、社会的バックグラウンドが異なる人たちと、言語や文化の違いを超え、地球規模で互いに分かり合える力を育みます。

設置学科 英語文化学科／比較文化学科



社会学部

社会問題に向き合い
課題解決能力を身につける

現代社会の諸問題を調査・分析する「社会学」と、それを実践・応用するための「社会福祉学」を学修します。社会的・文化的背景を理解し、現代社会がかかえる問題を分析、解決に導く力を養います。

設置学科 現代社会学科



法学部

法を学び、
公平で公正な判断力を養う

法学科では、人や集団、国家間で起こる問題を、法律や社会制度、統計・データの観点から解決し、より良い社会のあり方を考えます。地域創生学科では、法学領域の知識や技能をベースに、地域創生の発想や実践力を養成します。

設置学科 法学科／地域創生学科



経済学部

ヒト・モノ・カネ・情報の
動きを分析し、
持続的な社会の発展を考える

家計、企業、政府間で行われる経済活動について理解し、限られた資源を用いた生産や分配方法の最適化などを学び、より多くの人々が豊かになれる社会の実現を目指します。世界経済や日本経済への理解を深め、グローバル社会や情報化社会で求められる経済学的視点や論理的思考力を育みます。

設置学科 経済学科



経営学部

キャンパスから飛び出し、
経営の現場で学ぶ

社会連携教育プラットフォーム「K-biz」のサポーター企業の協力のもと、企業との共同プロジェクトなどを通して、実際の経営現場で学びます。また、1年次からビジネスプランの立案など、実践的な学びを展開し、学生の可能性を広げます。

設置学科 経営学科



理工学部

自然の原理を解明し、
未来を創造する科学技術の
発展をめざすエンジニアへ

理工学は、自然を観察して、その基本法則や仕組みを解明し、それを応用することにより、安全な生活、さらに便利で快適な生活をめざして、科学技術を発展させています。理学、工学の幅広い基礎知識を身につけるために、それぞれの専門分野に特化したコース制カリキュラムを用意しています。

設置コース

生命科学コース／数理・物理コース
応用化学コース／健康・スポーツ計測コース
先進機械コース／電気・電子コース
情報ネット・メディアコース／土木・都市防災コース

建築・環境学部

広い視野で新たな空間と
人々の生活を創造する

従来の建築学に加え、芸術や思想、歴史など人文・社会的な視点も取り入れ、過去から現在・未来へ持続する「時間」と、私たちを取り巻く「環境」の2つの軸を加えた新たな学問を提唱し、独自のカリキュラムを提供しています。発想力と技術を磨き、新たな建築空間を創造する力を培います。

設置学科 建築・環境学科



人間共生学部

「多文化共生」をキーワードに、コミュニケーションやデザインを学ぶ

多文化共生という視点から、他者と連携・協働し、新しい関係を構築する力を身につけます。人と組織、地域、社会、自然との新しい関係のあり方が問われる現代で、言語だけではなく、異文化、心理、メディアなどの視点を取り入れたコミュニケーション、また、物事を構想する力と、それを実現するためのモノ・コトのデザインを学びます。

設置学科

コミュニケーション学科／共生デザイン学科



教育学部

こどもに寄り添い社会に必要とされる「先生」に

こどもの発達を、心や体、人生全体を見据えた生涯学習の観点から理解し、複雑化する現代のさまざまな教育的・保育的課題に対応できる実践的な支援力を養います。隣接する学院内の各校と連携して園児・児童に対する深い理解と実践力を養います。

設置学科

こども発達学科



栄養学部

科学的根拠に基づいた提案ができる食・栄養のプロフェッショナルへ

「食生活」と「健康管理」をテーマに、食品の機能と生体の仕組みを理解し、食・栄養・健康に関する基礎・臨床的な研究を行うことにより、食と栄養に関わる様々なフィールドで活躍できるスペシャリストの育成を目指します。

設置学科

管理栄養学科



看護学部

看護実践能力を身につけ、生涯学び続ける看護師を育成する

保健・医療・福祉の現場では、医療の高度化や、患者・家族の多様化するニーズ、チーム医療の推進などに対応できる看護師が求められています。近隣の総合病院などの協力が得ながら充実したカリキュラムを用意しています。

設置学科

看護学科



5研究科14専攻、さらなる向学心に応える大学院

文学研究科 博士課程 (前期・後期) 〔昼夜開講制〕 ☀️🌙

- **英語英米文学専攻**
英文学、米文学、英語学 (英語教育学を含む)
- **比較日本文化専攻**
文化論、文化史、欧米史、文学、思想、中国、朝鮮、日本語
- **社会学専攻**
社会学、社会福祉学

工学研究科 博士課程

- **機械工学専攻 (前期)**
計測・制御工学専修、機械情報工学専修、材料力学・設計工学専修、流体工学専修、熱工学専修、材料・生産工学専修
- **電気工学専攻 (前期)**
電子物性工学専修、電気エネルギー工学専修、情報システム工学専修、健康・人間医工学専修、数物科学専修
- **情報学専攻 (前期)**
情報科学専修、情報通信工学専修、情報システムデザイン専修、情報メディア工学専修

- **建築学専攻**
(前期) 建築・都市計画専修、建築構造専修、建築生産専修、建築設備・環境工学専修
(後期) 建築・都市計画専修、建築構造専修、建築材料・施工専修、建築設備・環境工学専修

- **土木工学専攻 (前期)** 英語での授業あり ENG
構造工学専修、コンクリート工学専修、地盤工学専修、水工学専修、防災工学専修

- **物質生命科学専攻 (前期)**
有機・高分子化学専修、無機材料・固体物理化学専修、エレクトロニクス実装工学専修、生命科学専修、環境工学専修、材料・表面工学専修

- **総合工学専攻 (後期)**
機械工学専修、電気工学専修、健康・人間医工学専修、数物科学専修、情報学専修、土木工学専修、応用化学専修、生命科学専修、材料・表面工学専修

経済学研究科 博士課程 (前期・後期) 〔昼夜開講制〕 ☀️🌙

- **経済学専攻**
経済理論・経済学史、近代経済学、応用経済、経済史・世界経済
- **経営学専攻**
経営学、経営情報、流通・マーケティング、会計学

法学研究科 博士課程 (前期・後期) 〔昼夜開講制〕 ☀️🌙

- **法学専攻**
公共関係法、経済関係法

看護学研究科 修士課程 〔昼夜開講制〕 ☀️🌙

- **看護学専攻**
看護管理学 (看護管理学領域)、生活支援看護学 (母性・小児看護学領域、高齢者・在宅看護学領域)、療養支援看護学 (療養支援看護学領域)



留学生の学生生活を 細やかにサポート

留学生生活を支える、 「国際センター」

留学生が日本で充実した学生生活を送れるよう、国際センターがワンストップでサポートします。ビザや住居に関するサポート、履修相談や大学生活を送る上で必要な各種書類手続き、学生生活や一人暮らしにおける困りごとなど、気がかりなことはどんなことでも国際センターのスタッフに相談できます。



留学生専任スタッフが常駐する、 「就職サポート」

「KGU キャリアデザイン科目」を体系的に受講しながら、自身のキャリアデザインをスタートさせます。就職支援課には外国人留学生専任スタッフが常駐し、日本での就職に役立つ情報の提供や、留学生向けの就職ガイダンスの開催、個別のカウンセリングなど、留学生の就職活動を全面的にサポートしています。



留学生就職実績 (過去5年実績)

	学部	大学院
留学生卒業生数	74	25
国内就職者数	39	6
国内就職率	52.7%	24.0%
母国就職者数	5.4%	16.0%
大学院進学者数	12.2%	8.0%

「ヨコハマ・カナガワ留学生就職促進プログラム」では、学術都市形成の一環として大学、経済団体、国際交流団体が連携体制を構築し、日本での就職を希望する留学生を支援するべく、「ビジネス日本語教育」「キャリア教育」「インターンシッププログラム」が提供されており、かながわ留学生就職支援コンソーシアムに参加している本学の留学生もプログラム利用の機会を得ています。

受験生サイト

日本で学修することを目的とした留学生のための選抜方法も利用できます。選抜に関する詳細は受験生サイトをご覧ください。
URL: <https://ao.kanto-gakuin.ac.jp/>



多様な価値観に出逢える 「関東学院大学インターナショナル・レジデンス」

2021年新設の「関東学院大学インターナショナル・レジデンス」では、様々な地域や国からの学生たちが寝食を共にし、多様な価値観を学びます。大学まで徒歩2分のため、キャンパス内の学食や医務室、図書館などへのアクセスも容易です。各居室には、家具やインターネット環境も完備しており、コストを抑えて学生生活をスタートすることができます。



世界へのアクセスも便利、 歴史や自然にも恵まれたキャンパス



横浜・関内キャンパス

2023年、行政と商業の中心地である国際都市横浜の関内・関外地区に新キャンパスを開校予定。地上17階、地下2階からなる「横浜・関内キャンパス」は、市民にも開放するコワーキングスペースや、国際交流ラウンジを設置。学生と市民、企業人など国内外の多様な主体が集う拠点を創出し「知の交流」を促します。



横浜・金沢八景キャンパス

実験・実習施設、ICT、図書館など学生の学びをサポートする環境を備えた、関東学院大学のメインキャンパス。平潟湾からの海風を感じながら、横浜ならではのキャンパスライフを送ることができます。

横浜・金沢文庫キャンパス
湘南・小田原キャンパス 国際研究研修センター

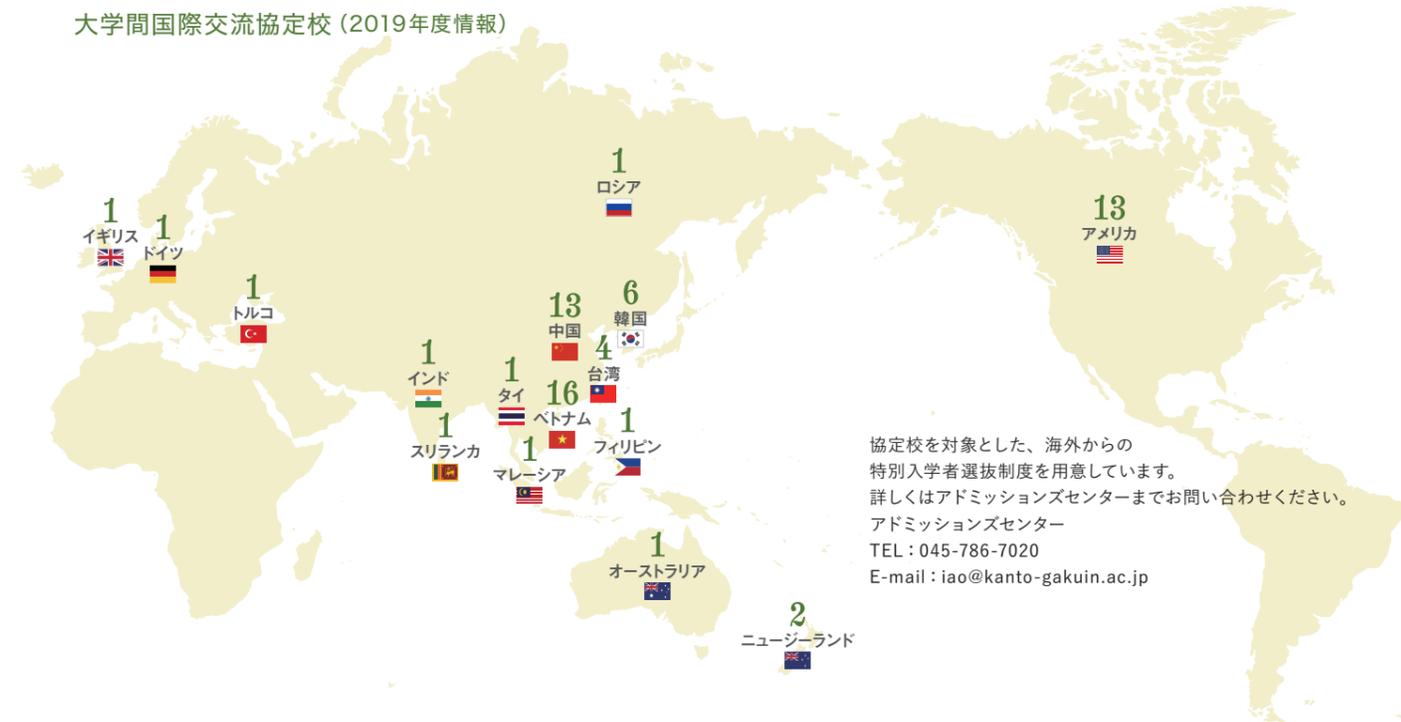
世界から日本へ、日本から世界へ。 学びを広く、深くする、国際交流。



国際交流協定校

世界各国の大学や機関と学術交流協定を締結し、学生の海外留学、国際教育交流、共同研究の促進に取り組んでいます。

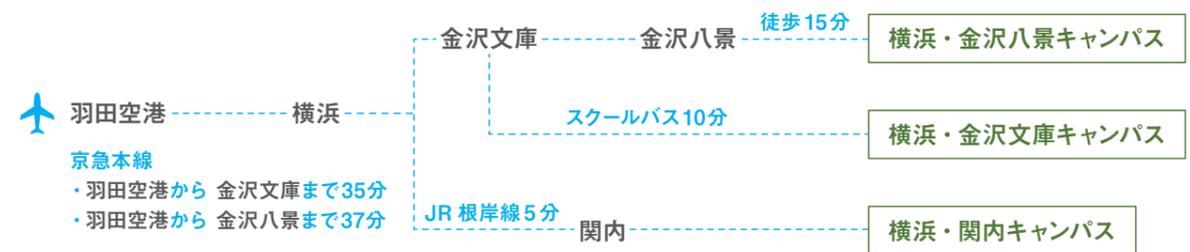
大学間国際交流協定校 (2019年度情報)



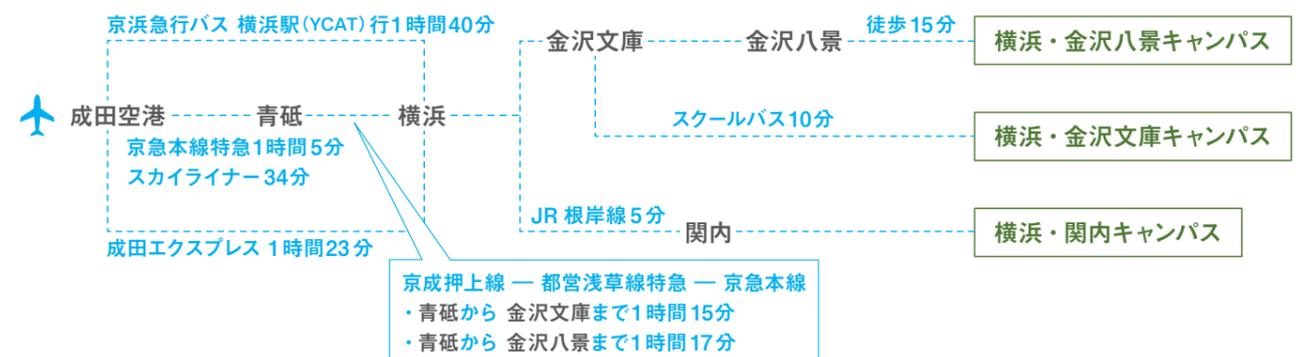
協定校を対象とした、海外からの特別入学者選抜制度を用意しています。詳しくはアドミッションズセンターまでお問い合わせください。
アドミッションズセンター
TEL : 045-786-7020
E-mail : iao@kanto-gakuin.ac.jp

Access

羽田空港からキャンパスへ (乗り換え時間は含めていません)



成田空港からキャンパスへ (乗り換え時間は含めていません)



K G U

KANTO GAKUIN UNIVERSITY